



火災・救急件数(3月末日現在)

- ◆火災 30件【前年比 -5件】
- ◆救急 5,541件【前年比 +142件】

市川市沿岸部の安全を守る 新消防艇「ちどり」完成!



平成27年4月1日

東消防署 高谷出張所に配備

(千葉県内で消防艇を保有しているのは千葉市、市川市のみ)

市川市消防局では、陸上からの消防活動が困難な石油コンビナート沿岸部の火災や、海上での災害に対応するため、平成2年より高谷出張所に消防艇「ちどり」を配置しています。

25年間市川の沿岸の安全を守ってきた「ちどり」は船体や設備の老朽化が著しく、この度新たな消防艇を導入しました。船の名前は初代から受け継ぎ「ちどり」と命名され、平成27年4月1日より高谷出張所に配備されました。

主な仕様

総トン数	14トン
船体材質	耐腐食性アルミニウム
大きさ	全長15m×幅4m×深さ1.6m 喫水0.6m
推進装置	ウォータージェット推進装置 最大速度33.63ノット(時速約62.3km)
消防設備	消防ポンプ 3,000ℓ/分×1基 電動放水砲 1,500ℓ/分×2基

機動力が大幅に向上した新消防艇
江戸川上流での水難救助活動等も可能に!

新消防艇「ちどり」は、従来の消防艇より小型・軽量化したことで喫水が浅くなり、これまで航行が出来なかった浅瀬や江戸川上流の航行が可能になったほか、最大速度が17ノット(時速約31km)から33ノット(時速約62km)と上昇し、機動性が大幅に向上した点が大きな特徴です。
また、出動回数が多く見込まれる水難救助や、水面に流れ出た危険物の防除活動の際に、効率的に活動できるよう、船の両舷に「救助用ステップ」を設置し、より水面に近い位置での作業が可能となりました。
様々な災害に備え、万全の体制を確保していきます。

【問合せ先】

市川市消防局 企画管理課(平日9時~17時)
☎ 333・2111(音声ガイダンス4番)

操舵室



左:旧消防艇 右:新消防艇



510馬力ディーゼル機関×2基



ウォータージェット推進装置



東消防署高谷出張所 消防艇隊

①まず肩を叩きながら意識があるか確認します。意識がない場合、大声で周囲の人に助けを求め、119番通報とAEDを持って来るよう依頼します。



②呼吸を確認し、正常な呼吸がなければ「胸骨圧迫」が必要です。胸の真ん中が少なくとも5cm沈むほど強く圧迫します。1分間に少なくとも100回のテンポで30回連続して絶え間なく圧迫します。



『胸骨圧迫30回、人工呼吸2回』を繰り返します。

③あごを上げ、空気が通りますようにします。人工呼吸は傷病者の鼻をつまみ1秒かけて静かに吹き込みます。(胸部が上がる程度を2回)すぐに胸骨圧迫を再開します。



『もし、あなたの前で人が倒れたら……』
命を救うため、救急車を待つ間にみなさんにも出来ることがあります。
救命処置の基本 心肺蘇生法

あなたの勇気が命を救う 心肺蘇生法



5年前と比較し約3,300件増

救急車の出動回数が増加中！

市川市内では平成26年中に
2万1,515件の救急出動
(前年比+722件)

本当に必要な人のため、救急車の適正な利用をお願いします。

救急車を呼ぶか判断に迷ったとき
『市川市急病医療情報案内』
24時間365日(無休)
☎0120-241-596
※携帯電話、PHSからも利用できます。



4月は『新生活』の季節

新居の防災対策は万全ですか？
入学や就職、転勤、異動など新しい場所での新生活を始めたこの機会にご自宅の防災対策を考えてみましょう。

1 室内の地震対策



地震発生時には、家具の転倒などによるケガが多く発生します。
特に寝室やリビングなど長い時間いる場所はチェックしてみてください。

家具の転倒を防ぐために、金具や突っ張り棒で壁や天井と固定します。それぞれの家具に合ったものを選びましょう。

- ・壁や天井の強度のある部分へ固定すること。
- ・食器の飛び出しを防ぐため、すべり止めシートを敷いたり、ガラスの飛散防止フィルムを貼りましょう。



出入り口・寝室では

家具の配置に注意！

いざという時、避難の妨げにならないよう家具の配置や方向にも注意が必要です。
また、寝室では背の低い家具を置くか家具の置き方を工夫し、寝ている方向へ倒れてこないよう配置します。



2 住宅の火災予防 住宅用火災警報器



平成26年中に市内では、117件の火災が発生し、その内6割を建物の火災が占めています。
住宅用火災警報器はすべての住宅で設置が義務付けられており、住宅用火災警報器のおかげで、大事に至らなかったケースも数多くあります。

住宅用火災警報器が正常に機能するように定期的なお手入れや電池の点検、10年を目安とした機器の交換も必要です。

消防局長就任挨拶



消防局長 高橋 文夫

平成27年4月1日付けで消防局長に就任致しました。市民の皆様には日頃から消防行政に深いご理解とご協力をいただきまして、心からお礼を申し上げます。

さて、昨年は各地において大規模な自然災害が発生し、中でも広島市で発生した土砂災害、御嶽山の噴火では多くの方が犠牲となりました。
また、東日本大震災から4年がたった今も余震と見られる地震が続く、今後私たちが暮らす首都圏においても、首都直下地震、東海地震等の発生が懸念されております。

あらゆる災害から市民の生命、身体及び財産を守るという責務はますます大きなものとなっており、消防体制の強化をはじめ、防災・減災に向けた取り組みが早急な課題となっております。
このような事から、本市においては昨年4月に、専門的かつ高度な教育を受けた隊員で構成した高度救助隊を発足させたほか、本年4月には、地域防災力の中核である消防団の充実強化を図るべく、処遇の見直しを行ったところであります。
今後とも、市民の皆様の安全・安心を守るため消防職員、消防団員が一丸となり全力を挙げて取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

消防局からのお知らせ

○平成27年度(第55回)

市川市消防団消防操法大会

消防団は様々な職業・主婦・学生の方が地域における防災のリーダーとして活動しています。
毎年、消防ポンプ車や小型ポンプを使用した操法大会が開催されます。
どなたでも見学出来ますので、是非応援をお願い致します。

日程 平成27年5月31日(日)

午前8時から11時※

雨天決行

場所 市川市北消防署

大野消防訓練場

(大野町4丁目2163の1)

電話 ☎3333-2111

(音声ガイダンス番警防課)

○5月の救命講習会

日程 普通救命講習13日(水)

20日(水)

24日(日)

外傷応急手当17日(日)

※20日(水)は小児・乳児を対象とした救命講習

を対した救命講習

時間 9時から12時

定員 各日程とも30名

場所 消防局5階

受付 5月7日(木)から

電話 ☎3333-2111

(音声ガイダンス番救急課)

